

弘 前 大 学
教 育 学 部 紀 要

第 110 号

平成25年10月

Bulletin of the Faculty of Education
Hirosaki University

No. 110

October 2013

弘 前 大 学 教 育 学 部

Hirosaki, Japan

目 次

『南都名所記』についての一考察 ……………	郡 千寿子 (1)
—山形県立博物館教育資料館所蔵本の資料性—	
「津軽から見た世界史」の試み ……………	篠 塚 明 彦 (9)
扇形領域における熱伝導方程式に対する境界値問題 (その2) ……………	伊 藤 成 治 (17)
酵母の簡便な培養法と教材化の検討 ……………	岩 井 草 介 (23)
	菊 池 智 子
	三 浦 貴 士
韓国における教員養成と科学教育についての基礎情報の収集 ……………	佐 藤 崇 之 (31)
—公州教育大学およびその附属学校についての分析—	
「身の回りの音を聴く活動」における学習内容の分析 ……………	石 出 和 也 (37)
グアテマラのマリンバ ……………	富 田 晃 (47)
腕伸展運動における頸反射の影響 ……………	川 端 良 介 (57)
	森 川 廣 光
	大 島 義 晴
小学校教員養成における教育実習の役割 ……………	麓 信 義 (63)
—教科に対する意識の変化に注目して—	
葉菜類のペクチン質に関する研究 ……………	加 藤 陽 治 (81)
低分子物質のナタデココへの浸透性 ……………	伊 藤 聖 子 (89)
	岡 山 純 子
	加 藤 陽 治
バナナの追熟および加熱調理による糖組成の変化 ……………	伊 藤 聖 子 (93)
	葛 西 麻紀子
	加 藤 陽 治
杜仲葉細胞壁多糖がマクロファージの NO 産生に及ぼす影響 ……………	伊 藤 聖 子 (101)
	加 藤 陽 治
英語前置詞 IN の意味分析 ……………	奥 野 忠 徳 (107)
「気になる子」への保育援助をめぐる保育者の認識や戸惑い ……………	増 田 貴 人 (117)
	石 坂 千 雪
教職志望の大学生に対する集団社会的スキル訓練の効果 ……………	田 中 勝 則 (123)

弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

編集委員会

齊 藤 利 男 (委員長)
石 川 善 朗
大 坪 正 一
櫻 田 安 志

弘 前 大 学
教 育 学 部 紀 要
第110号
(2013年10月)

平成25年10月15日印刷
平成25年10月18日発行
編集兼発行者
弘 前 大 学 教 育 学 部
弘前市文京町1番地
電話 (0172) 36-2111(代)
印刷所 小 野 印 刷
弘前市富田町52
電話 (0172) 32-7471(代)

CONTENTS

Investigation report on "NANTO MEISHOKI"documents of Yamagata Prefectural Museum possession	Chizuko KOHRI (1)
Attempt of "World history learning that centered on Tsugaru"	Akihiko SHINOZUKA (9)
The boundary value problem for the equationsof heat conduction in a plane sector II	Shigeharu ITOH (17)
Simple Culturing Methods for Yeast and Teaching Experiments	Sosuke IWAI (23) Tomoko KIKUCHI Takashi MIURA
Collection of Basic Information about Teacher Training andScience Education in South Korea: Analysis of Gongju National University of Education and the Attached School	Takayuki SATO (31)
Analysis of Contents in Activity "Listening to the Surrounding Sound"	Kazuya ISHIDE (35)
The Marimba of Guatemala	Akira TOMITA (47)
Effects of the Tonic Neck Reflex in the Exercise of Arm Extension	Ryosuke KAWABATA (57) Hiromitsu MORIKAWA Yoshiharu OHSHIMA
Role of Practice Teaching in Elementary School Teacher TrainingFocusing on Change of Opinion about Subjects	Nobuyoshi FUMOTO (63)
Studies on the pectic substances of leaf vegetables	Yoji KATO (81)
Permeability of a low molecule to nata de coco	Seiko ITO (89) Jyunko OKAYAMA Yoji KATO
Changes in the sugar composition of banana during ripening and cooking	Seiko ITO (93) Makiko KASAI Yoji KATO
Effects of polysaccharides from the leaves of <i>Eucommia ulmoides</i> onNO production in macrophage cell line	Seiko ITO (101) Yoji KATO
A Semantic Analysis of the English Preposition IN	Tadanori Okuno (107)
The Recognition and Embarrassment of Nursery School Teachersabout Supports for "difficult children"	Takahito MASUDA (117) Chiyuki ISHIZAKA
Effects of group social skills training forteacher candidate undergraduate students	Masanori TANAKA (123)